

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 集めている内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	①当ホームの運営理念の下、身体的・精神的安定と予防に努め、高質な福祉サービスの提供を目指し、地域世代の交流拠点となり、地域の皆様に開かれたホーム創りを目指す。 ②そのための継続的な実施を目標とする。	○ 西花畑小学校の慰問 (年 1回)
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を施設に掲示し、各自携帯して目標の確認と共有を自覚し、定例会議による綱領として定着させ、実践への展開を実施目標とする。	○ カンファーマーの中の充実
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進委員会の開催や、学童交流等の活動と季節行事により取り組む。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム前の花壇の開放等によるご近所の方々とのふれあいと校区のふれあい学級、学校訪問等による	○ 通学路に施設があり、子供たちの訪問があるが、もっと多くの子供たちに利用してもらいたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	推進委員会の実施による自治会・民生委員会・包括センターによる 情報交換・子供会への協力等による交流	

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	推進委員会 学童交流の実施により地域の高齢者の情報によって独居老人の食事会の企画等	○	介護相談を受けられるように、全スタッフのレベルアップを図りたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価や市の指導と推進委員会等の意見により改善に努めている		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会にてホームの現況報告の情報報告し、改善の意見交換し、サービスの向上に努めている	○	包括支援センターのスタッフの参加による充実したサービス内容の確認
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	認知症実務者研修・管理者研修への積極的の参加とその内容の全スタッフへの勉強会の実施	○	包括支援センターのスタッフの方による勉強会の実施
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者からご家族へは説明を実施しながら、活用できる支援を行っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症実務者研修会参加による虐待の実態と当ホームにおける虐待禁止	○	虐待の範囲の勉強会 精神的・身体的防止)

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を实践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明や解除・重要説明等はもとより、必要最小限の入居者さんの生きてきた歴史を質問し、日常性を聞き当ホームの介護に関する理解と納得を頂くようにしています	○	現場スタッフと家族との連携（利用者さんの希望等の連携）
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から利用者とその家族の望む生活リズムと生活目標を良く理解し、細かいサービスに努めています		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	推進委員会の実施によるスタッフの異動・利用者の家族への報告は機関紙等により掲示		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の時、近況報告とご家族の意見を聞き、問題点があれば、苦情処理対応・各行政機関窓口対応方法等の体制を敷いている	○	質問箱の有効利用
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長と家族との面談（定期的（月1回））のカンファレンスでの職員の意見・提案があればミーティングにより反映させる。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	各スタッフの希望を聞き勤務表を作成・日々の状況に合わせた勤務の調整をしている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよう、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動についてはご家族の意見や要望を配慮し、最小限度におさえております。	○	勤務に関する相談窓口の設置の徹底

項 目	取り組みの事実 実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している		
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年 2回認知症実務者研修参加による伝達講習会	
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協会研修参加及びソーシャルワークの伝達講習会の実施とリーダー研修	
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会学会 研修会参加による意見交換会	
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年 4回の定期的親睦会と月 1回のカンファレンス後の親睦会等の実施と相談機会の設置	
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年度の目標の設置（本年度はおだやかな介護）とそれに係る実践の工夫の意見交換	

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族や本人の身体的・精神的情緒を勘案し、その人の一定の生きてきた歴史と家族との係りを把握し、場合によっては体験入所をすすめてみる		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何度も相談機会を持ち、ホームの見学による生活リズムの把握・本人との良いフットワークが保てるかの時間を持ってもらう		
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と本人の生活環境・身体状況の情報収集を実施、ご家族の負担軽減が出来、すぐにでも対応できる状況と判断によっては他のサービスを紹介する	○	満床の状況が多く、もし増床ができればと思う
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぐに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	できるだけ、時間をかけ家族と本人の希望・不安等を把握して、馴染みの物品や趣味等をホームに持ち込むようこして、穏やかな状況で入居していただくよう勤める	○	体験入所のタイミングがとり難く、逆に期間が長すぎないようこしたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり 支えあう関係を築いている	ホームの理念に沿って、その人らしく尊厳を持ち、近隣との接触や企画による社会性を保持しつつ一緒に社会の中での一員であり続ける関係を継続する		

項 目		取り組みの事実 実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えてい、関係を築いている	ご家族と一緒に参加できる企画と行事への参加 野球観戦等)と誕生会等の家族への呼びかけ	○	企画はするが、ご家族のスケジュールが中々できないので、まだ企画を多くして、家族の参加機会を増やしたい
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	すでに5年以上のご家族が多く、一緒にの悩み・喜びを共有する関係を構築するよう努めています		
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう 支援に努めている	馴染みの人の把握と情報提供・買い物・家族の近況報告・好きな事の把握と時間をかけた会話		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりを孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるよう努めている	部屋に閉じ困らないように、しかもプライバシーを保持しつつ、出来るだけリビングでの会話・ゲーム・体操を心がける		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設へ転出した場合でもできるだけ訪問をし、電話・機関紙の送達		

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃のアセスメント・プランの更新や継続を職員全員で意見を集約し、ご家族と本人にあっていないかを常に検討・反省しながら良質なサービスに努めています	○	ケアプランの内容的充実
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシート等の把握とそれによる生活歴・キーパーソンの方の意見や希望、認知症度・介護度の情報処理等迅速に対応し、ご家族・本人・職員が三位一体の意識を持つようしている	○	ややもすると、ご家族・職員が過剰介護にならぬようにしたい
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日の過ごし方、心身状況・変化は日誌に記録申し送り等の徹底と穏やかに過ごしていただくよう努めています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフや計画作成担当者と利用者本人・家族と話し合って作成に努めており、モニタリング・ケアプランの継続・変更を本人にあったプランを作成している		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なモニタリング・カンファレンス・日常の生活状況・家族の季節的な要望等を勘案して、入居者の現況にあったプランの作成に努める		

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直し活かしている	個別の記録や毎日の状況判断でメリハリのある1日を提供すべく家族の希望等をカンファや管理日誌 健康管理日誌を参考に共有し介護の実際のプランを目指す		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族との外出・本人希望による買い物・家族からの電話等の情報の共有による歳時の実行（花見・バーベキュー・コスモスほか）定期的医師の診察・庭での造園・野菜栽培等を実施している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進委員会のメリットを最大限活用し、独居老人等のパーセント等の情報交換と西花畑小学校との学童交流による支援等を実施している	○	幼稚園児との交流も実施したい、
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族からの相談があれば、他のサービス機関の紹介や成年後見人制度のシステム（ソーシャルワーカーの紹介）利用者の疾病に適した医療機関への紹介又は送迎の支援をしている		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメン等について、地域包括支援センターと協働している	この何ヶ月かで、支援センターも充実し、場所も変わり相談しやすくなっているが、過去は推進委員会の出席が殆どなかったが、これからは定期的に推進委員会への参加もできるとのこと、おおいに活用したい		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科クリニック（酒井循環器）の隔週の往診を実施しており、疾病の適応した協力病院に送迎する（松永病院・整形外科ほか）救急の場合・主に九州中央病院に送迎している		

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族・職員の相談（利用者に関する認知度の進行等の）は老人性痴呆に詳しい南区の中村病院（精神科）の各先生に相談もしくは診察を依頼している（当ホーム送迎）		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	定期的な往診の先生もしくは看護師と当ホームの看護師との密なる連携により健康管理を実施している		
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後衣類の交換・入院生活の状況の把握のため、最低1回は病棟もしくは病院を訪問・退院時の予定の情報収集により迅速な環境作りをしている		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合に関しては、重要事項にて家族また職員が共有し、緊急の場合の連絡網（医師との緊急の連絡等のマニュアル化をしている。	○	これから終末期を迎える方が多いので、その家族とどのような終末期を迎えるかをスタッフとの話し合い等の機会を多くする
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医の先生（隔週往診の先生）への定期的な状況報告と急変時における判断をおおぎ、迅速に検討・病院に当ホームの待機スタッフが搬送するマニュアルがある		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化に関して家族・本人・スタッフと十分な協議をし、試験的な住居移転の体験の実施の有無の検討と精神・身体的な平静さを支援する		

項 目	取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	慰懃無礼な言葉使いは失礼であり、尊敬と親しみをこめた言葉使いで対応し、羞恥心・精神的虐待・言葉の暴力への配慮について毎月のミーティングでその有無を確認。	
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	各利用者の個性・癖を把握し、適度距離をおきながら、お仕着せでなく自己決定を支援している	
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に合わせた支援を目標としている、ワークをこなさないようスタッフ一同共有している	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者の皆さんは理容・美容については行きたがりませんので、スタッフが担当し、皆様は満足しています。衣類については季節季節で本人さんの希望に沿った物を、ご家族の方と相談し決めています。	
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者・職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんの好みを伺って、調理しています。魚・肉・野菜等をバランス良く思考し、硬さ・柔らかさ等を考え対応しています。また食前後の片付けや食材の準備のお手伝い等食尽と一緒にしています。	
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の方々の、好み・嗜好を聞きその人に合った調理や物を準備しています。	

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	健康管理表等により排泄等のチェックをしながら対応しています	○	基本的には排泄の自立を目指す
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その人の希望にあわせて入浴を実施しています		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者さんの個々にあわせ、就寝時間や起床時間を考慮し支援している		
③その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できるだけ、メリハリのある1日を過ごしていただく様に得意な分野での役割分担していただき、快適な時間を共有するよう支援しています		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の方と相談の上、金額も少額で高額なものはご家族にお願いしています。買い物や外出を支援しています		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人さんとご家族と相談し、希望があれば、スタッフが同行またはご家族の同行により支援しています		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	普段いけない所（車の必要性等）の場合もご家族とご相談のうえスタッフ同行し支援しています。		

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話や手紙のやりとりの支援を実施している		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族・友人等の訪問に関しては、時間制限なくおいつでも訪問可能な支援をしています		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームでは拘束ゼロをモットーとしており、職員にもホーム内研修により啓蒙を実施しています		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯のため玄関の鍵はかけますが、各利用者の方々の部屋は施錠しておりません		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間は、殆どリビングで皆さん過ごしていますが、居ない利用者さんの部屋等の見守りをさきげなく実施、夜間は原則2時間毎の見回りをしています		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者さんの自立に必要な物・リスクの高い物など規則づくめでなく環境の整備や工夫をして生活感が失わないように危険防止に努めている		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者さんの状況に合わせ対応し、常に事故防止を念頭に置き支援をするよう職員に徹底し、ヒヤリハットの報告の整備とデーターの共有を実施するように努める	○	外出の際の付き添いは状況に応じて半介助若しくは見守りの充実

項 目		取り組みの事実 集めている内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修と隔週往診の先生との連携の迅速性・その都度の先生への指導をおおぐ		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に関しては、避難場所やマニュアル等により職員に提示またご家族との連携・ご近所の方々へのご協力の要請趣旨の説明等		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居者の身体的・精神的の変化を常に察知し、ご家族との面談時には、抑圧性のないような生活支援を説明して、それに伴うリスクについて理解を得られるように努めています		
⑤その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期的なバイタルチェック・健康管理表・細かい変化等の記録を迅速に把握し、医療連携の医師へ連絡・指示によりマニュアルどおりに実施する		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりに使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者の薬剤の管理把握と状態を把握し、看護師・医師と連携を取りながら服薬支援を実施している		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日常の散歩・レク・家事参加・きめ細かな排泄記録による対応（野菜・水分・服薬作用等）をしている		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	協力歯科の週1回の口腔ケアと訪問時の先生たちによる指導を受けている		

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養補給は、バランスの良い日本食をメインに適度の動物性・植物性蛋白を配慮・また水分補給も全員が意識して注意しており、個々にあったメニューと身体的なバランスを考えて塩分の少ない・糖分の配分して支援しています		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染対応マニュアルの徹底と保健所等の研修参加と院内での伝達講習の実施		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所・調理器・食器の整備と衛生整備・食材は新鮮なものを使用し、期限切れのチェックと台所一円の清掃		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	従来の駐車場をオープンにし、職員等の駐車場は他に確保)花壇やご近所の方々や学校帰りの子供たちが良く立ち寄るのでベンチを置いています。日和の良い日は日向ぼっこをできるように開放しています		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般の日本家屋を改造しており、やや狭い部分がありますが、木目の造りと日本の昔ながら一般家庭の庭が、こころをなごましており、春の梅・桜・秋の柿・キウイの収穫等で季節の到来をかんじるようこしています	○	ハート面で狭いのが難点ですが、それなりに工夫していますが、改修を実現したい
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりには個室に使い慣れた物等（食器・仏壇・箸・テレビ）を置いており、やや狭いリビングが利用者さん同士の語り合い場となっています	○	上記に同じですが、昔の家風として良いにですが、ご本人さん達はその点で好きなようですが、建蔽率等の線引きがかわれば改修と拡張を実現したい、不自由ですが利点としてつたえ歩きがしやすい

項 目		取り組みの事実 集施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	前述したように、利用者さんは昔の日本の源風景で、喜んでいますが。工夫してできるだけ広く使えるようにしています。		
86	○換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の出し入れ等は朝の掃除後・昼・夕方としており、においに関しては換気扇のチェック、と定期的交換・空調による調整等の実施		
② 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	狭さを逆に利用し、歩行困難な方々には丁度よい広さといえ、伝え歩きでの歩行訓練に効果がでていた	○	広いリビングにする予定です
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来るだけその人らしく、適度の距離を置いて見守りながら支援している。機能の低下を惹起しないように		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	昔の庭があり、季節の木々があり、表ではベンチと花壇を配置して収穫や季節を感じています。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の 2/ 3 くらいの
			③利用者の 1/ 3 くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に 1 回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の 2/ 3 くらいが
			③利用者の 1/ 3 くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の 2/ 3 くらいが
			③利用者の 1/ 3 くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の 2/ 3 くらいが
			③利用者の 1/ 3 くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の 2/ 3 くらいが
			③利用者の 1/ 3 くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の 2/ 3 くらいが
			③利用者の 1/ 3 くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の 2/ 3 くらいと
			③家族の 1/ 3 くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム めぐみ

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の 2/ 3くらいが
			③職員の 1/ 3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の 2/ 3くらいが
			③利用者の 1/ 3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の 2/ 3くらいが
			③家族等の 1/ 3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

その人らしく、尊厳を持って接して行き、自然体で対応すること、またできるだけ機能の低下の防止に努め、高齢者・認知症を認識しながら普通の人との接し方を維持し、無理なコミュニケーションや介護でなく自然な対応を維持していきたい